

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 1 - 0 8	令和7年度第1回墨田区保健衛生協議会		
開催日時	令和7年8月4日(月) 午後1時30分から3時まで			
開催場所	区役所17階 第一委員会室			
出席者 (敬称略)	【外部委員】 福田吉治、佐藤篤、山室学、稜川雅彦、松田浩、浅尾一夫、足立健介、植谷幸、山田昇、桂木能久、大橋行、三浦八重子、高木恒子、庄司道子、杉山達雄、岩田道子、鎌形由美子、橋本亮、後藤克巳、栗原博、谷澤あゆみ、小出和正、勇勢欣一郎(計23名) 【内部委員】 福祉部長、保健衛生部長(保健所長) 子ども・子育て支援部長(計3名) 【欠席】 笹井敬子、新井康久、松寿昇、柴田正(計4名) 【関係部課長】 保健衛生部次長(生活衛生課長事務取扱) 保健計画課長、保健予防課長、健康推進課長、母子健康づくり担当副参事(計5名) 【関係課職員】 保健計画課データ活用推進担当主査、保健計画課保健計画担当主査・係員、保健予防課感染症係長、(計4名) 【事務局】 保健計画課保健計画担当主査、係員(計2名)			
	公開(傍聴できる) 部分公開(部分傍聴できる 非公開(傍聴できない)	傍聴者数	0名	
議 題	(1) 「すみだ健康づくり総合計画」及び「墨田区自殺対策計画」の進捗状況について (2) すみだ保健子育て総合センターの愛称について (3) 次期「すみだ健康づくり総合計画及び墨田区自殺対策計画」について (4) すみだ保健子育て総合センター1周年記念イベントについて (5) その他			
配 付 資 料	資料1 墨田区保健衛生協議会委員名簿 資料2 令和7年度第1回墨田区保健衛生協議会次第 資料3 「すみだ健康づくり総合計画」進捗状況(概要版) 資料4 「すみだ健康づくり総合計画」事業一覧 資料5 「墨田区自殺対策計画」進捗状況 資料6 すみだ保健子育て総合センターの愛称について 資料7 次期「すみだ健康づくり総合計画・墨田区自殺対策計画」の策定について 資料8 すみだ保健子育て総合センター1周年記念イベントについて			

【会議概要】

1 開会

2 会議の公開・傍聴についての説明

保健計画課長(事務局): 本日の会議は、墨田区審議会等の会議の公開に関する基準に基づいて、傍聴の募集をさせていただいた結果、本日は傍聴の希望はなかった。また議事録の公表を行うため、録音をさせていただくので、ご了承いただきたい。

3 保健衛生部長あいさつ

4 墨田区保健衛生協議会の概要

保健計画課長(事務局): 本協議会は、区の「墨田区保健衛生協議会条例」に基づき設置されており、地域保健及び保健所の運営に関する事項などを審議する場となっている。また、同条例によって、「協議会は半数以上の委員の出席がなければ会議を開くことができない」とされている。本日は委員の半数以上のご出席しているため、この会議が成立していることを報告する。

(事務局より、委員の紹介(事前配布資料1 委員名簿)をもって代える) 欠席委員、新委員の紹介、保健衛生部幹部職員の紹介、配布資料の説明)

会長欠席のため議事進行は副会長が代行する旨を説明

5 議事

(1)「すみだ健康づくり総合計画」及び「墨田区自殺対策計画」の進捗状況について

福田副会長: 議事の1「すみだ健康づくり総合計画の進捗状況」について、説明をお願いする。

保健計画課長: 事前配布資料3「「すみだ健康づくり総合計画」進捗状況(概要版)」、4「「すみだ健康づくり総合計画」事業一覧」に基づき説明

福田副会長: 様々な取組みの評価をしているが、B評価やその他の評価のものは今年度残りの期間でA評価になることはあるのかお聞きしたい。

保健計画課長: 引き続き、A評価になるよう取組みを推進していくが、今年度末までで評価が変わることはないかと思う。

福田副会長: -41の「地域・職域連携推進協議会(仮称)の設置」の評価はなぜ「その他」となっているのか。

保健計画課長: 区では、健康経営支援事業として、検討会は立ち上げており、職域連携の内容の議論は行っているが、協議会としては設置していないため、評価を「その他」としている。

福田副会長: 承知した。こうした評価を踏まえ、次回の計画からは、見直しできるものは見直していければ

良いと思う。

菰川委員： -39 の「成人歯科健康診査の実施」について、評価は B となっている。区の歯科衛生士とも議論はしているが、20 歳から 70 歳の 5 歳刻みの検診においては、他区との比較からも歯科医師会としてはもう少し評価が高くていいのではないかと感じている。東京都が公表している都内の成人歯科検診の 40 歳・50 歳・60 歳の令和 5 年度の受診率は、7.8%となっている。墨田区の同年齢の受診率は 12.4%で、23 区中で 1 番高くなっており、令和 4 年度が 4 位だったことから、もう少し評価されるべきと思っている。

松田委員： 23 区の中では成人歯科検診の受診率は非常に高いが、特定健康診査の受診率 46%と比較すると低い。また、口腔ケアは若いときからの生活習慣が不可欠であるため、私としてはもう少し受診率を上げるべきかと思う。

健康推進課長： 成人歯科検診の受診率は 10%前後を推移しているが、歯科医師会と協力してさらに受診率を向上できるように努めていきたい。

山室委員：「計画の推進に向けて」の中で、“健康に関するデータの活用等を行い”とあるが、このデータは、レセプトや健診結果のデータかと思うが、会社で働いている人たちのデータは含まれていないが、把握することは可能か。区が把握している国保データは、特に若い人では区民の半数もいないので、計画を策定するうえで現状を正確に把握できていないのではないか。

保健計画課長：現時点では、保健所としては、40～74 歳の年代については、国保加入者のデータしか把握していないため、これらのデータの分析と併せ、保健師の地域活動での現場の声等を踏まえて次期計画の施策に活かしていくことを考えている。

福田副会長：自治体によっては、健康に関するデータに活用についても、地域・職域連携推進協議会等の会議体でも議題になることが多いため、併せて検討してもらいたい。

保健衛生部次長：社会保険加入者等のデータの連携等については、マイナンバーカードの活用を含めた取組みの一環として、国が少しずつ進めていると聞いている。区としては、国保データ等により、地域ごとの健康状態のデータを分析するような取組みをスタートさせている。まずは区としてできるところから進めたいと考えている。

（２）「墨田区自殺対策計画の進捗状況について」

福田副会長：議事の 2 「墨田区自殺対策計画の進捗状況」について、保健予防課の杉山課長よりご説明をお願いします。

保健予防課長：事前送付した資料 5 「墨田区自殺対策計画」進捗状況をご覧ください。

（事前配布資料 5 「墨田区自殺対策計画」進捗状況」に基づき説明）

福田副会長：ただいまの説明について、ご質問ご意見等はございますか。

小出委員：アウトカム指標の「睡眠による休養が十分に足りていると感じる割合は減少傾向」とあるが、資

料4の施策 - 49「適切な休養・睡眠に関する普及啓発」として、オンデマンド講演会の実施といった取組みに対する事業評価はAとなっているが、区としての考えをお聞きしたい。また、今後の取組みとして、中学生を対象とした休養・睡眠に関する普及啓発は考えているのか伺いたい。

健康推進課長：適切な休養・睡眠に関する普及啓発として、セミナー等を開催し、一定数の参加もあることから、一定程度の普及啓発はできているものと考えているが、今後、さらなる普及啓発の充実に努めていきたいと考えている。また、中学生を対象とした取組みについても、どのように施策に展開できるか検討させていただきたい。

福田副会長：事業評価の基準としては、アウトプット指標に基づくものか、アウトカム指標の結果を求めるものか大変難しいところではあるが、今回の「睡眠による休養が十分に足りている割合」の指標でのデータの出典は何か。

保健予防課長：すみだ健康づくり総合計画策定にあたって実施した「区民の健康に関するアンケート調査」の結果に基づくデータを記載している。

福田副会長：自殺対策については、ライフステージに応じた対策が必要となる。委員の皆様の協力を得て、今後とも取り組んでいただきたい。

（２）すみだ保健子育て総合センターの愛称について

福田副会長：議事の２すみだ保健子育て総合センターの愛称について、事務局より説明をお願いします。

保健計画課長：配布資料６「すみだ保健子育て総合センターの愛称について」に基づき説明
３つの最終候補について、各委員からの投票を実施

（３）次期「すみだ健康づくり総合計画及び墨田区自殺対策計画」について

福田副会長：議事の３「次期「すみだ健康づくり総合計画及び墨田区自殺対策計画」」について、引き続き説明をお願いします。

保健計画課長：配布資料７「次期「すみだ健康づくり総合計画・墨田区自殺対策計画」の策定について」に基づき説明

山室委員：今後１０年の計画ということだが、後期高齢者の割合が増加していくかと思う。健康はもちろんだが、本人の健康に関する満足度も重要視して計画に盛り込んでもらいたい。

岩田委員：資料５の中で、自殺の原因・動機の４３％が健康問題となっており、アウトプット指標の「自殺ハイリスク者支援件数」としても、病院との連携により増加しているという分析もされている。大変重要かと思うので、引き続き、取組みを進めてもらえると、自殺者の減少にも効果が表れるのではないかと思う。

福田副会長：自殺未遂者等のハイリスク者に対するフォローは大変重要である。様々なデータもあるため、今後の自殺対策施策に活かしてもらいたい。

佐藤委員：健康区宣言については、マークは見覚えがあるが、内容が陳腐化しているため、21世紀に向けて改めることは重要かと思う。平和都市宣言や音楽都市宣言等、様々な宣言があるが、住民に認識されてこそ宣言かと思う。健康区宣言についても、宣言するだけでなく、どのように区民に認知してもらうかを考えてもらいたい。例えば、野菜を食べるとか、具体的な行動に結びつけることが大事かと思う。具体的な取組みとセットで効果的な宣言となるよう議会も一緒に考えていきたい。

（４）すみだ保健子育て総合センター１周年記念イベントについて

福田副会長：議事の４「すみだ保健子育て総合センター１周年記念イベントについて」、引き続き事務局から説明をお願いする。

保健計画課長：配布資料８「すみだ保健子育て総合センター１周年記念イベントについて」に基づき説明

福田副会長：ただいまの説明について、ご質問ご意見等はございますか。

浅尾委員：墨田区薬剤師会の事務局がすみだ保健子育て総合センターの横に昨年移転した。この１周年記念イベントに合わせて、薬剤師会としても事務局の中で「子ども調剤体験」を企画しているため、この場を借りて報告させていただく。

鎌形委員：すみだ保健子育て総合センターについては、開館当初に民生委員も施設内の見学をさせてもらい、大変素晴らしい施設かと感じている。また、健診エリアも設置されており、多くの母子が訪れる施設であるため、愛称だけでなく、可愛いマスコットキャラクターを考案してもらい、PRしてみてもどうかと思う。

保健衛生部次長：長く親しまれる施設として、委員の提案も重要な視点かと思うため、どのような工夫ができるか考えさせていただきたい。

（５）その他

福田副会長：先程のすみだ保健子育て総合センターの愛称についての投票結果が出たようなので、事務局から結果の発表をお願いしたい。

保健計画課長：投票結果を以下のとおり発表

- <結果発表> 第１位 すみほこ（１５票）
- 第２位 すみいく（７票）
- 第３位 すけっち（３票）

保健計画課長：以上の結果を踏まえ、１１月８日（土）の１周年記念イベントで正式な発表とさせていただく。皆様のご協力に感謝申し上げます。

岩田委員：先ほど説明のあった１周年記念イベントの中で、子どもと大人と一緒に楽しめる体験型イベントとして、ぜひ、ラジオ体操も入れていただければと思う。ご当地体操としては「すみだ花体操」があり、と

でも重要かと思うが、ラジオ体操も 100 年以上の歴史があり、全国共通の体操として簡単にできる健康づくりの 1 つなので、ぜひ、組み込んでもらいたい。

保健計画課長：検討させていただく。

松田委員：在宅高齢者訪問歯科診療について、令和 6 年度の実績が 54 件となっているが、実際に事業を活用できる潜在的な対象者はもっと多いかと思うので、事業周知等の広報をしっかりとお願いしたい。

健康推進課長：情報発信は適宜行っているが、さらに効果的な周知ができるよう力を入れていく。

佐藤委員：全体的な話にはなるが、周知や情報発信に関しては、所管を超えた取り組みをぜひお願いしたい。区役所は、情報発信としてチラシを配布したり、ポスターを掲示したり、SNS で発信したりと、情報発信はしているが、実際に対象者に見てもらって利用してもらわないと福祉や健康の増進にはつながらない。先ほどの歯科検診の受診率にしても、普段歯医者に行かない人でも薬局には行く機会があるかもしれないため、薬局での周知に力を入れるとか、ぜひ、所管を超えた情報発信を意識して取り組んでももらいたい。

保健衛生部次長：様々なご提案に感謝する。今年度、5 歳児健康相談として、福祉部門や心理士などの職種を超えた対応も取り入れている。こうした事業効果を高める取組みについては、念頭に置いて、今後の事業を進めていきたいと考えている。

6 閉会

保健計画課長：以上をもって、「令和 7 年度第 1 回墨田区保健衛生協議会」を閉会とする。

【所管課】墨田区保健衛生部 保健計画課保健計画担当（電話 03-5608-6189）